

RX-78-01[N] 局地型ガンダム

RX-78-01[N] 局地型ガンダムの記録は地球連邦軍地上施設の敷地で発見されている。洋上や高溫地帯、砂漠地帯などで試験評価が行われており、RX-78-01[N]の耐環境試験は連邦軍のサポートを受けて広範囲にわたり実施されていたと推測される。

「この画像は洋上試験の最中でしょう。コロニー落としの影響がまだ残っていた太平洋上で、当時は組織再編の途中だった連邦海軍の協力を得て進められました。波のない水面であれば機体にかかる力は計算である程度は予測できます。しかし波の抵抗が加わると途端に複雑化する。シミュレーションでは見えない問題点を洗い出していくのがこの試験での目的でした。防水シーリングや水中用の装備は試験を円滑に進めるための処置で、高度な水中戦闘を想定したものではありませんでした」

記録では試作されたモビルスーツ用の火器を使った射撃試験も行われたようである。

我々の調査では、RX-78-01[N]が装備するMS用マシンガンをジョン公国軍のモビルスーツが携行していた記録も見つかっている。

「形状から八洲重工製と判断できます。兵器の開発・製造を行っていた八洲重工は、ジョンと連邦が人型機動兵器を開発している情報を手に入れて、専用の火器を開発して双方に売り込んだのだと思います。ユニバーサル規格が浸透する前に、連邦とジョンのモobilスーツが同じ火器を使用していたのは珍しい事例かも知れません」



GIMMICK



REAR VIEW



リヤビュー FRONT VIEW



MARKING

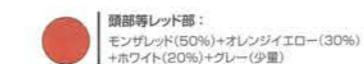
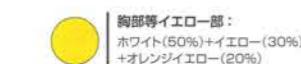
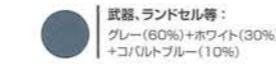
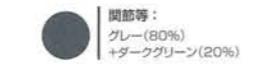
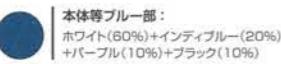
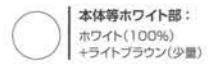


*マーキングシールの余白部分をカットして貼るとよりリアルになります。

COLOR GUIDE

*よりリアルに仕上げたい方は、こちらの基本色をご覧ください。 *塗装には、より安全な「水性塗料」のご使用をおすすめします。

*カラー配合は参考値であり、画像とカラーガイドの色は異なる場合があります。



HG
GUNDAM THE ORIGIN
1/144 SCALE

**機動戦士ガンダム
THE ORIGIN
MSD**
MOBILE SUIT DISCOVERY



RX-78-01[N] GUNDAM LOCAL TYPE

局地型ガンダム

テム・レイ博士がサイド7で進める人型機動兵器「モビルスーツ」の開発は、地球連邦軍のバックアップを受けた大規模プロジェクトに成長していた。試作機1号(RX-78-01)の製作が始まると、開発工期短縮のためにテム博士らが行う性能試験と併行して、別チームが地球環境での耐久テストを実施することが決定した。耐環境試験には別のテスト機が用意されることになり、製作も地上チームに委託された。試作機1号の余剰パーツが地上に降ろされ、製造が遅れていたパーツは設計データと照合して同仕様のパーツが地上で調達された。当時の最新技術からなる小型融合炉や装備一式が到着し、工廠で組み上げられていく。その姿はRCX-76ともジョン公国軍のザクとも異なる、スレンダーな双眸の巨人であった。完成した当初は試作機1号と同じイエローの機体カラーで、チーム内ではRX-78[N]と呼称されていた。地上で試験を進めるなかで

カラーリングは白と紺のツートーンカラーに変更され、地上試験では不要と判断された宇宙用装備は地上用・水中用の装備に換装されている。後世において、この改修された状態は分類上「RX-78-01[N] 局地型ガンダム」と呼ばれた。RX-78-01[N]による耐環境試験で得られたデータはサイド7に送られ、RX-78-02に反映されたという。試験終了後、モビルスーツの実戦配備を急いで連邦陸軍の要請で、余剰パーツをベースにRX-79[G] 陸戦型ガンダムが開発され、ジョン軍の水陸両用モビルスーツに悩まされた連邦海軍が水中用モビルスーツの必要性を提言したこと、洋上試験のデータからRAG-79 アクア・ジム、RAG-79-G1 水中型ガンダムが生みだされた。RX-78-01[N]が果たした功績は副次的な面でも大きかったと言えるだろう。



MS用マシンガン

各種兵器の開発・製造で実績をもつ八洲重工製。RX-78[N]で射撃試験が行われ、のちに改良されたプロダクションモデルをRX-79[G] 陸戦型ガンダムなどが装備している。またジョン公国軍のモビルスーツも使用していた記録が残っている。



防水用シーリング

RX-78-01[N]の脚部や腕部の関節には防水用シーリング処理が施された。これは洋上試験時に地上のチームが暫定的に処置したものだが、のちの水中用モビルスーツ装備の開発にも活用された。

ビーム・サーベル

当時のジョン公国軍でも実用化されていなかった技術、エネルギーCAPの実用化で完成した格闘用兵装。縮退寸前の高エネルギー状態のミノフスキーパーツをIフィールドで収束させ、ビーム状の刀身を形成する。モビルスーツの装甲も瞬時に溶断できる。



SPEC

型式番号：RX-78-01[N]
頭頂高：18.0m
武装：MS用マシンガン
ビーム・サーベル
シールド



シールド

RX-78-01のシールドは地上では機動力が犠牲になるため、小型で近接戦闘にも対応できるものが考案された。裏側にはバイボッド(二脚銃架)も増設されている。のちに防弾性能が向上したタイプが開発された。

△警告(けいごく)

保護者の方へ 必ずお読みください。

●小部品があります。誤飲・窒息の危険がありますので、3才未満のお子様には絶対に与えないでください。

△注意(ちゅうい)

- 縁部が鋭い箇所がありますので、注意してください。
- 先端が尖っている箇所がありますので、注意してください。
- 部品はきれいに切り取り、切り取ったあとのクズは捨ててください。
- 袋を頭からかぶったり、顔を覆ったりしないでください。
窒息する恐れがあります。

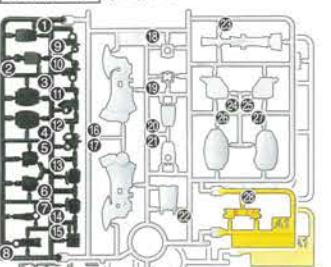
《組み立てる時の注意》

- 組み立てる前に説明書をよく読みましょう。
- 部品は番号を確かめ、ニッパーなどできれいに切り取りましょう。
- 塗装にはより安全な「水性塗料」のご使用をおすすめします。
- 尖った先端や薄い縁端部に触れながらの組み立てには十分ご注意ください。

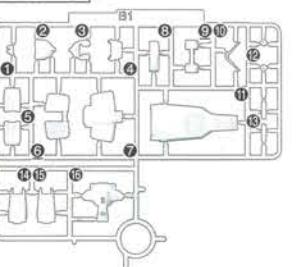
PARTS LIST

※×印は使用しないパーツです。

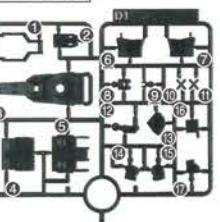
A1 パーツ (x2) PS



B1 パーツ PS



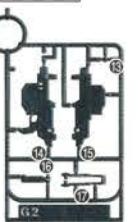
D1 パーツ PS



D2 パーツ PS



G2 パーツ PS



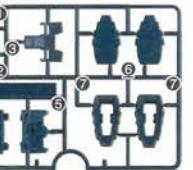
※A1⑩は1バーツ使用しません。

※クリアーパーツの中には、製造工程上気泡が入っているものがありますご了承ください。

各部品は、ニッパーなどできれいに切り取りましょう。



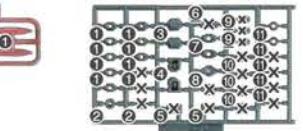
C1 パーツ PS



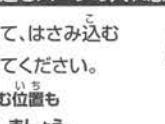
C2 パーツ PS



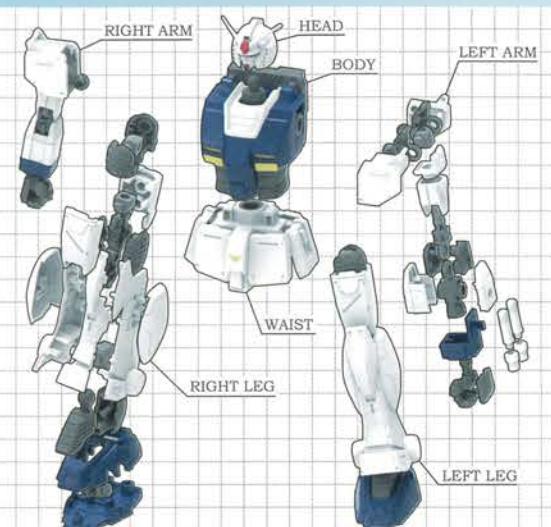
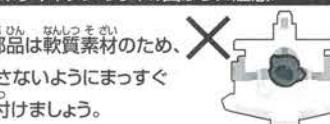
SB-13 パーツ PS



はさみ込むパーツの入れ忘れに注意!

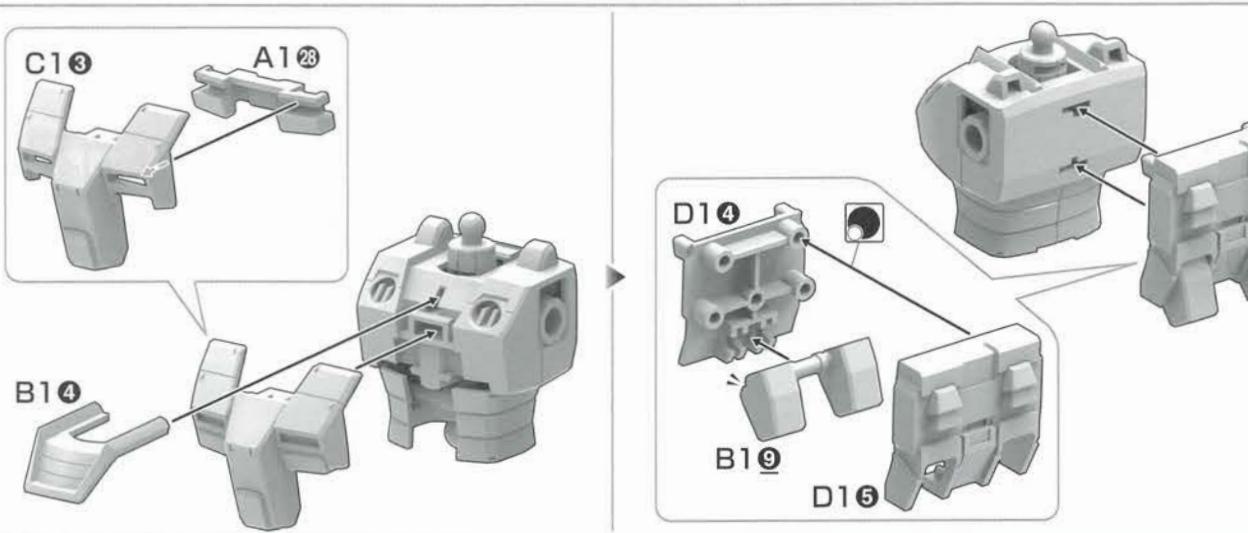
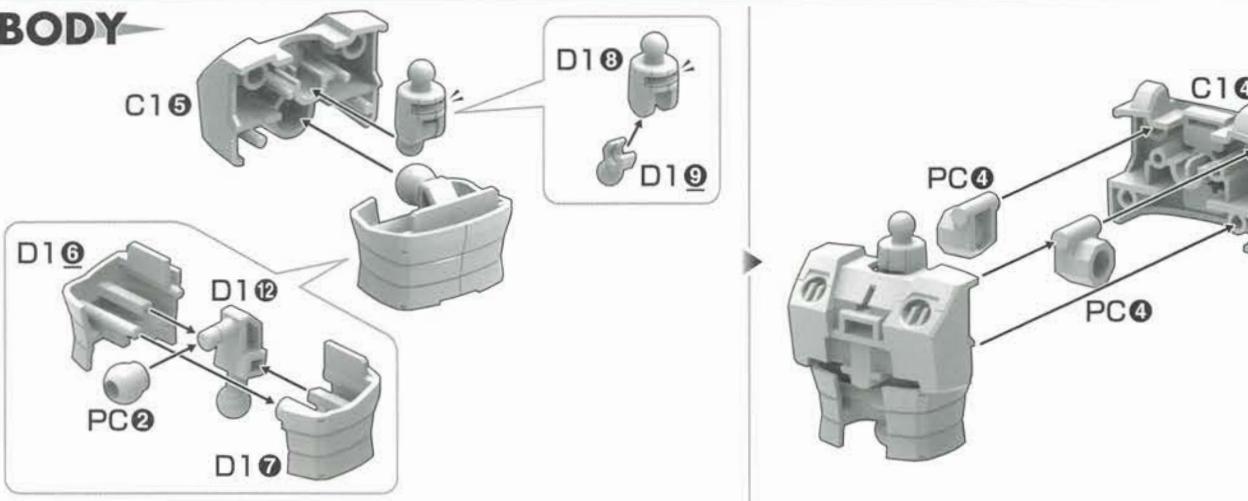


ポリキャップのすれ、曲がりに注意!

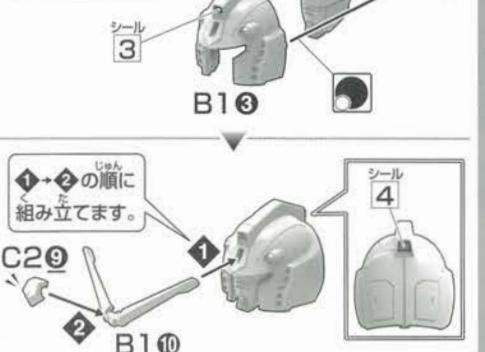
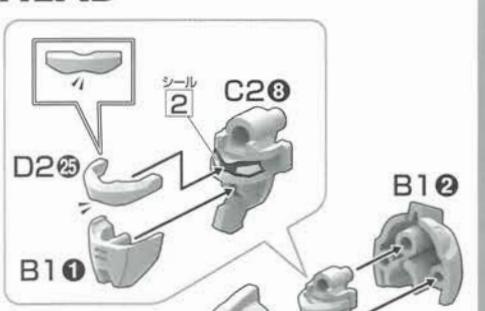


※説明書で使用される記号は欄外に説明があります。

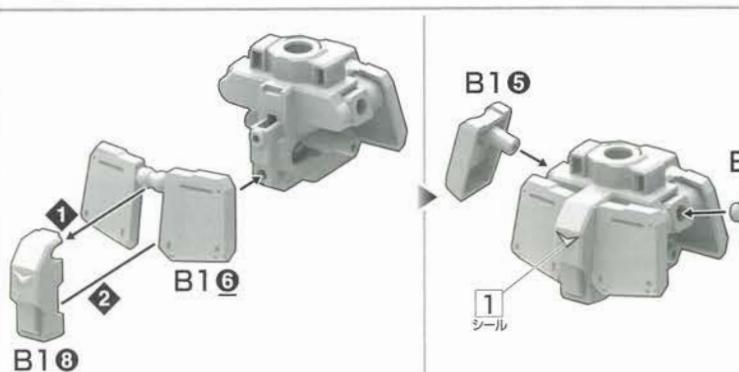
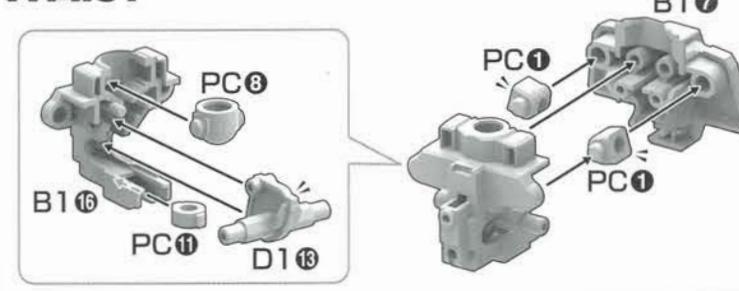
BODY



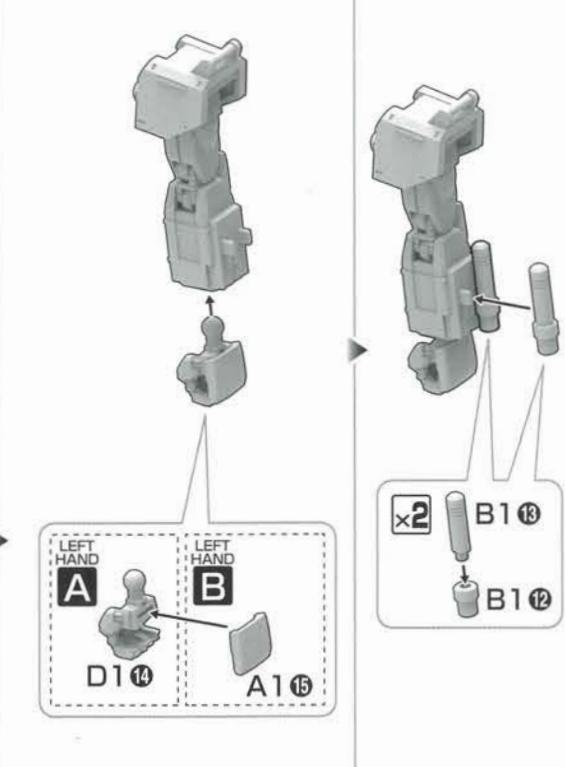
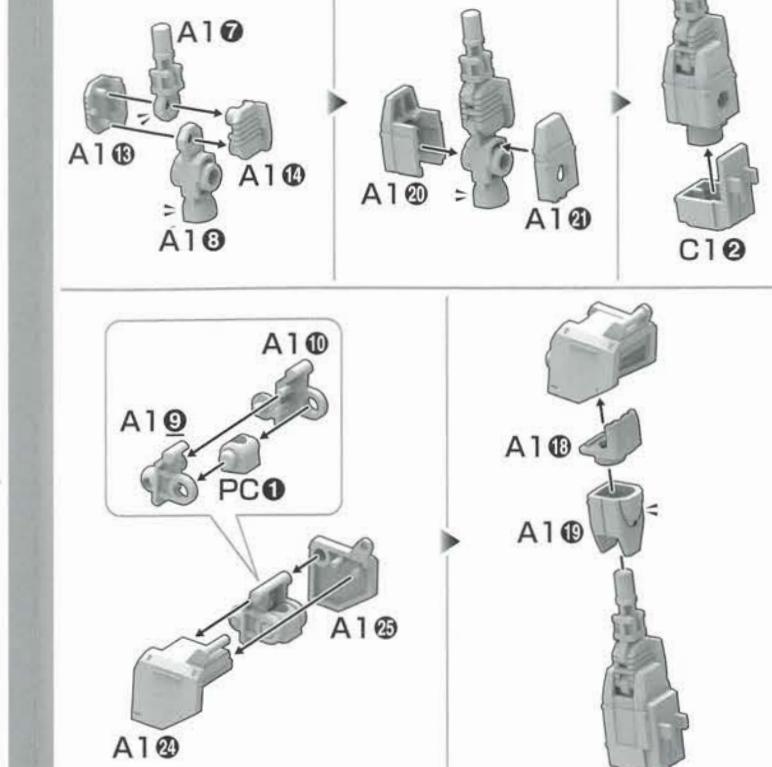
HEAD



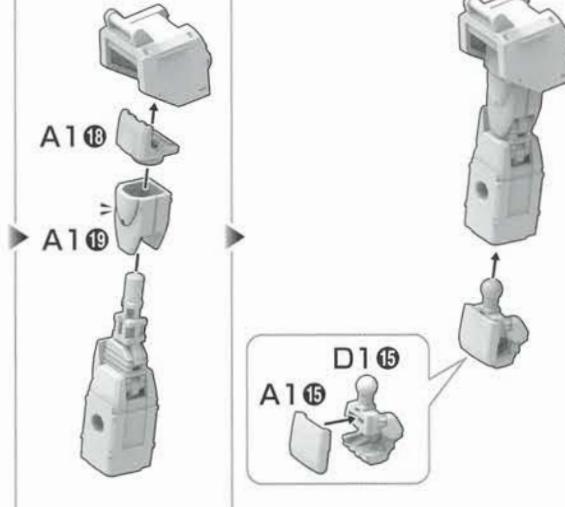
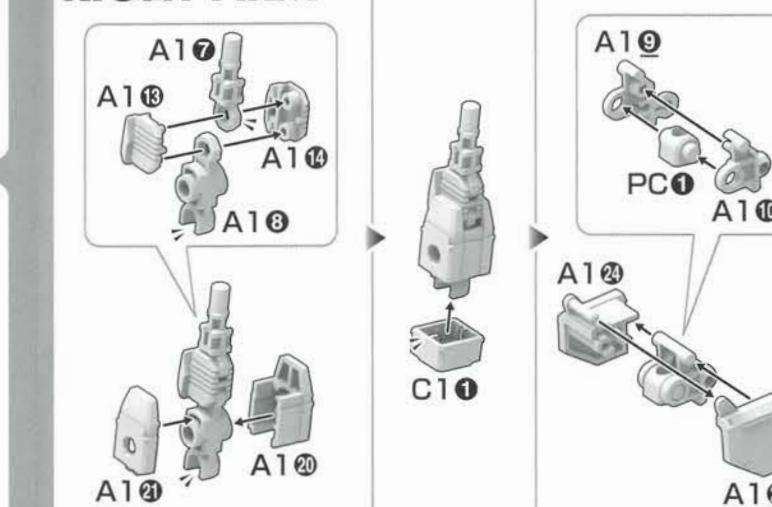
WAIST



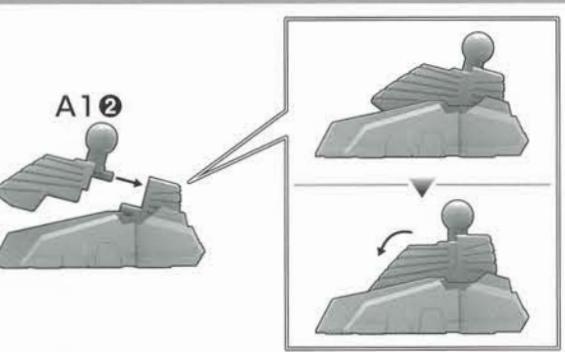
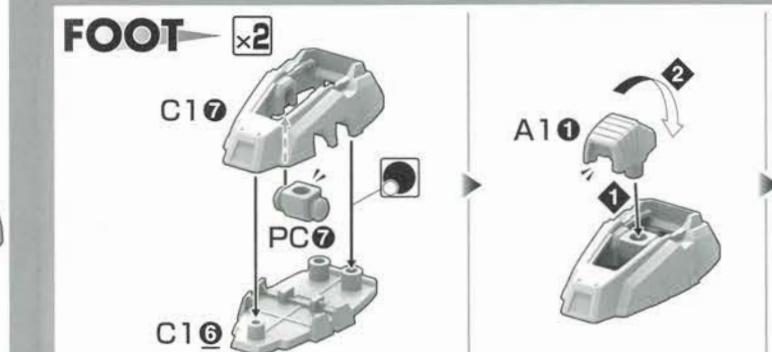
LEFT ARM



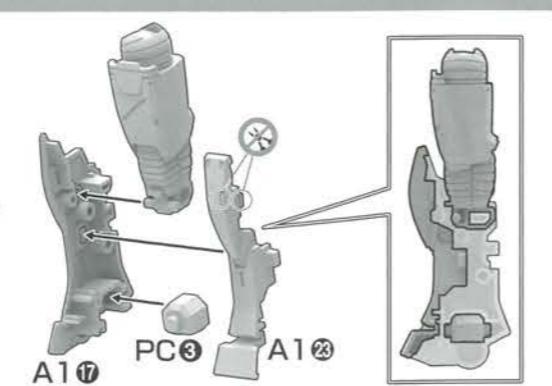
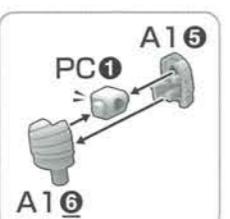
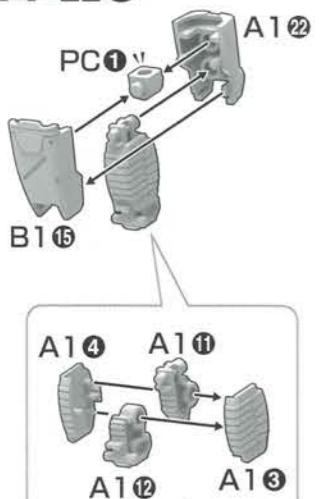
RIGHT ARM



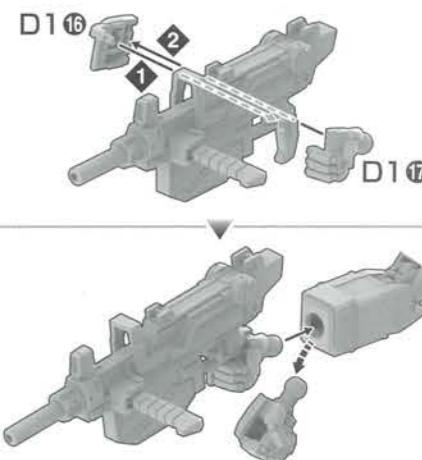
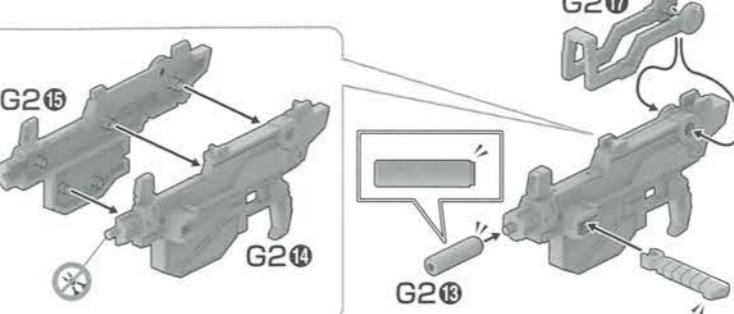
FOOT



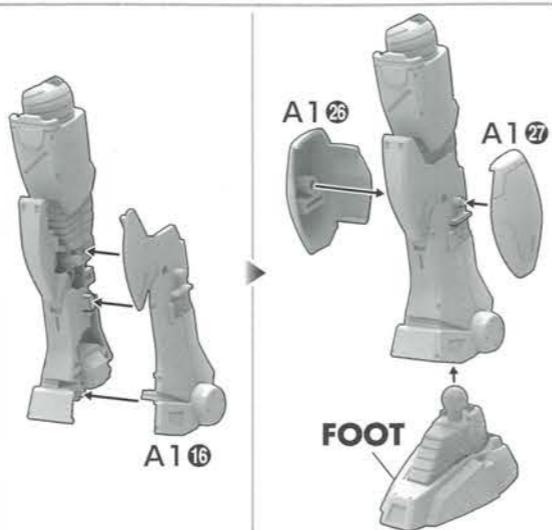
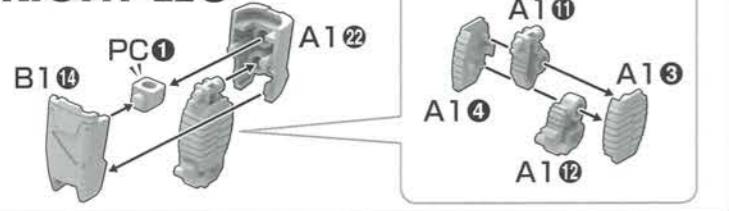
LEFT LEG



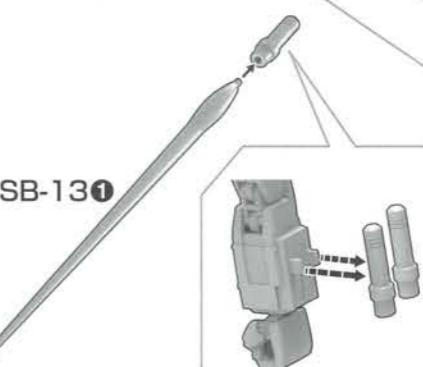
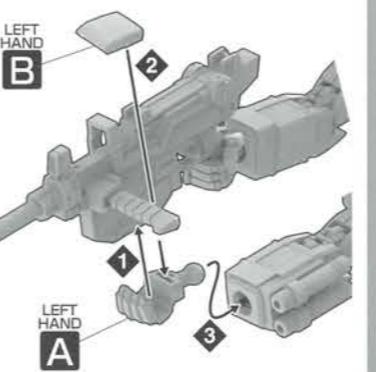
MACHINE GUN



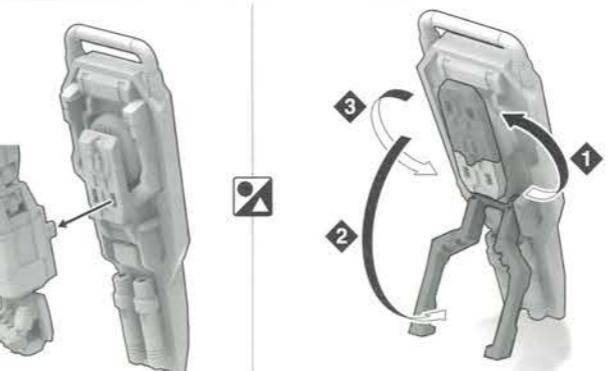
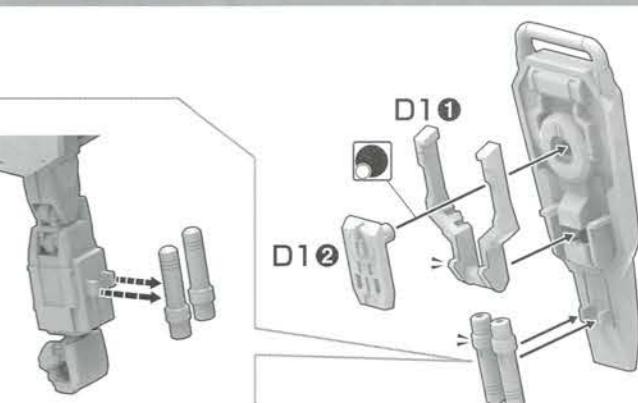
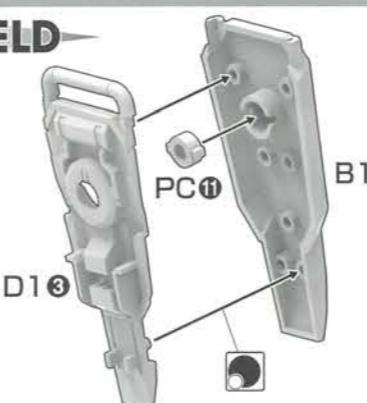
RIGHT LEG



BEAM SABER



SHIELD



バンダイプラモデル
アクションベース2(別売り)
差し込み用(丸型)BA4-A⑨
にも対応しています。